

# 若手研究者の就職難と劣悪な待遇の解決のための公開シンポジウム

——日本の学術の将来と社会の発展をみすえて——

「高学歴難民」「高学歴ワーキングプア」などといわれ、大学院博士課程を修了しても安定した研究職につくことができない若者の急増が社会問題化しています。政府の科学技術政策が生み出した深刻な矛盾であり、日本の学術研究と社会の発展にかかわる大きな問題です。このシンポジウムは、若手研究者の就職難や劣悪な待遇の現状を告発し、その解決の展望をひらくために、日本共産党と研究者のみなさんが交流する場です。日本共産党は、この成果をもとに現状打開への国会内外での活動をさらに進めます。大学院生、ポスドク、非常勤講師など若手研究者のみなさん、大学、研究機関に関わるみなさんに参加をよびかけます。

日時：2008年2月2日(土) 午後1時30分～5時

主催：日本共産党 学術・文化委員会

場所：日本青年館 6F グリーティングルーム

(JR千駄ヶ谷駅より徒歩9分、地下鉄銀座線 外苑前駅3番出口より徒歩7分、  
地下鉄大江戸線 国立競技場駅A2出口より徒歩7分。地図は[こちら](#))

## プログラム

### ▽主催者あいさつ

足立正恒(日本共産党 学術・文化委員会責任者)

### ▽パネリストの報告

- ・科学コミュニケーションからみた若手研究者問題——榎木英介(NPO 法人「サイエンス・コミュニケーション」代表理事)
- ・筑波研究学園都市におけるポスドク問題——岡田安正(元産総研主任研究員)
- ・科学技術の人材養成とキャリア——坂東昌子(日本物理学会キャリア支援センター長、愛知大学教授)
- ・人文・社会学系における若手研究者問題——吉田裕(一橋大学大学院社会学研究科教授)
- ・若手研究者の就職難と劣悪な待遇の解決にむけて——石井郁子(衆議院議員、日本共産党副委員長)

### ▽討論

若手研究者、大学関係者など参加者のみなさんの発言で交流します。

—————事前申し込み不要・参加費無料 来聴歓迎します—————

シンポジウム終了後、有志で懇親会(参加費 3,000 円程度)を開きます。

お問い合わせ先 日本共産党中央委員会 学術・文化委員会事務局

E-mail:gakubun@jcp.jp Fax:03-5474-8397